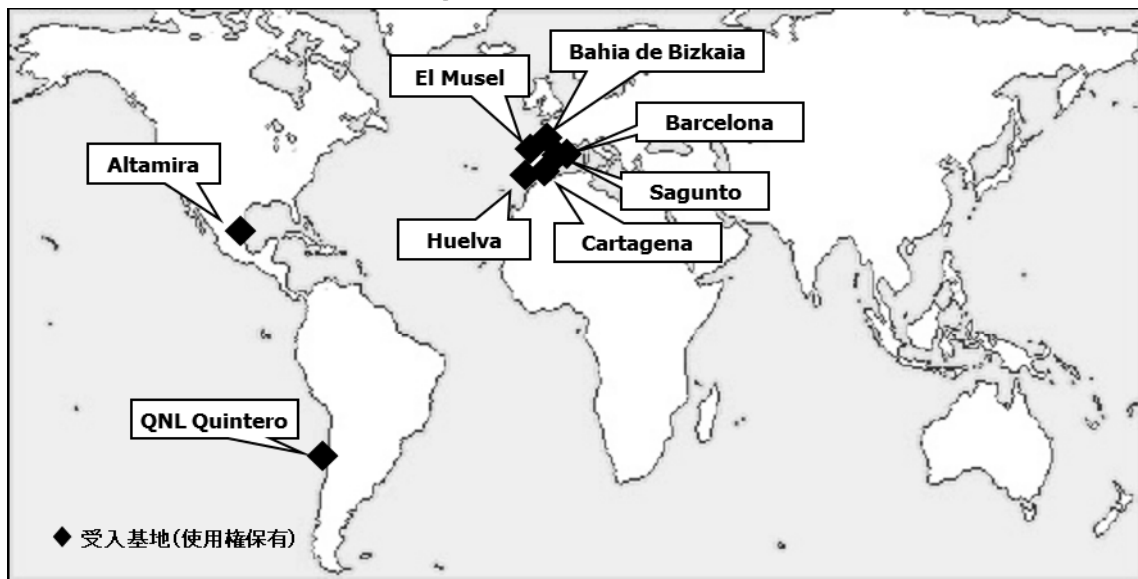


26. Enagás

(1) 企業概要

Enagás は 1969 年に設立されたスペインの天然ガスインフラストラクチャー運営会社であり、事業の中心となるスペインでは 11,000 km のパイプラインと 3 つの地下貯蔵設備、4 つの LNG 受入基地を所有、2 つの LNG 受入基地の権益を所有している。2012 年、欧州委員会によって独立した TSO (Transmission System Operator) と認定されており、生産、小売事業者とパイプラインネットワークの独立性を保証している。また、スペイン国内での豊富な運用実績をもとに、イタリア、ギリシャ、アルバニア、米国、メキシコ、ペルー、チリといった海外でも天然ガスインフラストラクチャー関連の権益を保有、投資を行っている。2019 年のスペイン国内でのガス需要量は前年比 14% 増の 398 TWh、受入基地からの気化、トラック/タンカーへの積込量は前年比 21.8% 増の 139 TWh となっている。

Enagás の LNG 受入基地図



(2) LNG 関連

Enagás はスペイン最初 LNG 受入基地である Barcelona 基地を始め、Huelva 基地、Cartagena 基地、El Musel 基地を所有している (El Musel 基地は完成と同時に休止状態となっている)。また、Bahia de Bizkaia 基地の運営会社の 50%、Sagunto 基地の 72.5% の権益を保有、スペイン以外ではメキシコの Altamira 基地の 40%、チリの QNL Quintero 基地の 45.4% を保有している。ギリシャで LNG 受入基地を運営する DESFA の株式も保有している。

Enagás は天然ガスインフラストラクチャーの運営会社であり、自ら LNG を調達しているわけではない。一方で、スペイン国内の 7 件中 6 件の LNG 受入基地に出資参加、全 7 基地を一体運用しており、同国の LNG 輸入において非常に重要な役割を果たしているといえる。

Enagás の LNG 受入基地一覧

国名	基地名	出資者	受入能力 (万トン/年)	受入開始
スペイン	Barcelona	Enagás	1,255	1969年
	Huelva	Enagás	870	1988年
	Cartagena	Enagás	870	1989年
	Bahia de Bizkaia Gas (Bilbao)	Bahia de Bizkaia(Enagás 50%, EVE 50%)	520	2003年
	Sagunto LNG	Saggas (Enagás 72.5%, 大阪ガス 20%, OmanOil 7.5%)	640	2006年
	El Musel (Gijon)	Enagás	510	2013年
	Tenerife (カナリア諸島)	Enagás	95	2021年(建設中)
	Gran Canaria (カナリア諸島)	Enagás	95	2027年(建設中)
メキシコ	Altamira	Terminal de LNG de Altamina(Vopak 60%, Enagas 40%)	570	2006年
チリ	GNL Quintero/Quintero Bay	Terminal de Valparaíso(ENAGAS) 40%, OMERS 29.6%, Terminal Bahía de Quintero(ENAGAS 51.9%, OMERS 48.1%)	268	2009年
	<Expansion Phase1>	10.4%, Empresa Nacional del Petróleo (ENAP) 20%	134	2015年
	<Expansion Phase2>		134	計画中

(3) 今後の戦略

天然ガスパイプラインの拡張は継続しており、ギリシャからイタリアまでをつなぐ TAP プロジェクトに参画している。TAP は産ガス国であるアゼルバイジャンからトルコ、ギリシャまでをつなぐパイプラインである TANAP と共に南欧州ガスパイプライン回廊を形成する国際パイプラインであり、2020 年中の完成を目指している。

Enagás は 2019 年の CDP Climate Change の A リストに、石油・ガス関連会社で唯一入っている。二酸化炭素排出削減に積極的に取り組み、2050 年までに自身の活動による二酸化炭素排出をネットゼロにする目標を掲げる。ガス設備は再生可能ガス（バイオメタン、水素等）の利用を通してカーボンニュートラルの達成に必要不可欠としており、バイオメタン、水素関連プロジェクトに対し 2020-2026 年で 3 億ユーロの投資を計画、天然ガスパイプラインへの水素混合実証試験を行うなど、天然ガスインフラストラクチャーを活用した自身の活動以外の排出削減にも貢献する活動を行っている。

2020 年 4 月、スペインの市場競争規制機関である CNMC はスペイン国内の LNG 受入基地、パイプライン、地下貯蔵施設に容量を割り当てる新たなガス市場メカニズムを承認した。ガスシステム上の容量契約に関心を持つ様々な企業の入札方式で実施される。また、従来再ガス化基地ごとに実施されていた取引を統合する、バーチャルタンク方式の LNG トレーディングも発足した。トレーダーの取引機会の増加、基地ごとのbalancingが可能となる。